



おにぎり通信

2016年 5月 28日 (土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

「いつしかに 春は暮れけり ころもた さびしきままに はつ夏に入る」——
歌人・若山牧水の短歌です。このあいだまで春の陽気だと思っていたら、心の準備も体の準備もできていないうちに、初夏を思わせる日が多くなりました。暑い日にはとくに水分と塩分の補給に心がけてください。

〈福祉行動報告〉 5月 16日 (月) 2名の方が千代田福祉に行かれました。

Aさん (50代) 受診を希望されましたが、今回は様子を見ることになり、病院には向かいませんでした。

Bさん (30代) 就労希望で自立支援センター (新宿寮) を紹介され、入寮まで、千代田区内の民間施設で待機となりました。

次回の福祉行動：5月 30日 (月) 東京駅丸の内北口地下に朝8時

30分までに集合してください。喫煙所の近くにあるコンビニの並びの

赤富士の絵のところに「おにぎり通信」を持った者が待機しますので、

声をかけてください。病院に行きたい方や、体を休めたい方と一緒に「福祉

事務所」まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は毎週月曜日 (月曜日が

祝日のときは火曜日) です。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の

希望をご自身の言葉でハッキリと伝えることにより成り立ちます。

最寄の福祉事務所

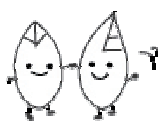
中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階

5月27日、伊勢志摩サミットで来日するオバマ大統領が広島訪問で発信するメッセージについて、「日米関係の重要性と戦後70年の著しい進展について所感を述べることになるだろう」と伝えています。「日米は(約)70年前には戦争をしていたが、現在は幅広い問題で協力している。両国が築き上げた素晴らしい進展の証しだ」と語っています。

私は昨年末に出張で広島を訪れました。市内の本川小学校にある資料館にお邪魔しましたが、平和公園の資料館とはちがい、「悲しみ」より「痛み」を感じる場所でした。被爆二世ガイドの岩田美穂さんのお母様は被爆されて、家族6人中で一人生き残った方でした。岩田さんは涙ながらにひとり生き残った母親の半生を語ってくれました。

本川小学校では、原爆を投下された後、遺体の焼却が行われ、今も校舎の10メートル下までその灰(遺骨)が積み重なっていることがボーリング調査でわかっています。その方たちには、墓はないのです。また、当時、平和公園には、7千~8千人の学生が建物の取り壊し等の作業動員で集まっていたといえます。彼らは、被爆直後、熱さで川へ逃げた者が多く、学生服の陶器のボタンが今も川底から出てくるそうです。70年前、広島上空でさく裂した原爆で、死んでしまいました。平和公園を歩いていて、涙が止まりませんでした。今も埋まっている遺体の上を歩いていたのですから。たった一つの爆弾で、一瞬にして14万人が死んでしまったのです。その原爆を落とした国の大統領が、70年たって、はじめて広島にやってきました。4月に、オバマ米大統領は、核兵器のない世界を目指すことを明確に宣言しました。人類と核兵器は共存できないと訴えつづけてきた被爆者は、この広島訪問で大きく勇気づけられることでしょう。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。一人でも多くの方に召し上がっていただくため、おにぎりは一人一個でお願いいたします。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：080-7795-8535